

別紙

福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名称：特定非営利法人 環境・福祉事業評価センター	所在地： 長野県長野市南高田2-5-16
評価実施期間：令和3年9月29日から令和4年2月21日	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載） 050301 B15021 B16024	

2 福祉サービス事業者情報（令和3年12月現在）

事業所名： （施設名）箕輪町 三日町保育園	種別：保育所	
代表者氏名： 町長 白鳥 政徳 （管理者氏名）園長 有賀 ちまり	定員（利用人数）： 60（60）名	
設置主体：箕輪町 経営主体：箕輪町	開設（指定）年月日： 昭和31年5月1日	
所在地：〒399-4603 上伊那郡箕輪町大字三日町1456		
電話番号：0265 79 2100	FAX番号：0265 79 2100	
電子メールアドレス：mikamachi@town.minowa.ig.jp		
ホームページアドレス：Town.minowa.nagano.jp		
職員数	常勤職員： 4名 非常勤職員 14名	
専門職員	（専門職の名称） 名 保育士 11名	
	園長 1名 調理員 3名	
	保育士 3名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	乳児室 1室	ブランコ、滑り台、ジャングルジム、シーソー、鉄棒、砂場、上り棒、雲梯、ロッキンパイプ、統合遊具、太鼓橋、サッカーボール型遊具・築山
	ほふく室 1室	
	保育室 4室	
	調理室 1室	
	事務室 1室	
	遊戯室 1室	
医務室 1室		

3 理念・基本方針

箕輪町の保育理念 子ども一人一人を大切に、保護者や地域に愛される保育園を目指します。
箕輪町の保育方針 養護と保育を一体的に行い、子どもの発達を援助します。 保護者の気持ちを受け止め、共に子育てをします。
箕輪町保育目標 1 元気よくあいさつしよう 2 自然のなかで伸び伸びとあそぼう

3 やさしい気持ちをもとう

三日町保育園理念

- ・心身ともに健康で意欲的に取り組める子どもの育成（命を大切にする子・意欲を持てる子）
- ・保護者、地域と共に子育てをします

4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

三日町保育園は昭和31年5月に開設し、昭和60年12月に改築された。箕輪町の南東に位置し、竜東線のすぐ西、田んぼと住宅に囲まれ、歴史豊かな福与城址や老人施設（ゆとり荘、みのわ園）が近くにあり、母子通園施設（若草園）が隣接し、自然と人のふれあいが豊かにもてる場所に位置している。春や秋には福与城址、かまくら沢はもちろん、福与神社、三射山神社まで足を伸ばし、散歩コースにも恵まれている。近年は三日町区田中城の周りに商業施設ができ、家も増え入園する子どもも増加している。

定員は60名で入所児童は60名と箕輪町8園の中では小規模な保育園であり、長時間保育、未満児保育、障がい児保育、ふれあい保育、育児相談・未就園児への園開放（のんたん）を行っており、一時預かり保育、乳児保育、土曜保育を除くサービスを実施している。

箕輪町では「箕輪町第5次振興計画（2016年～2025年）及び「箕輪町子ども・子育て支援計画（令和2年～令和7年）」が策定されている。三日町保育園ではこの計画に基づきランドデザインを作成し保育園保育方針や保育目標を実現するためひと味ちがう箕輪の子育ての育成事業の推進している。

<健やかな子どもの育ちを支えます>

地域の自然の中で思いきり遊ぶ（信州型自然保育「やまほいく」の推進）

挨拶活動の推進（地域住民とのふれあい）

心にのこる絵本の読み聞かせの充実

英語あそびの推進（英語教師とのかかわり）

自然の中で運動あそび

よく遊び、よく食べ、よく眠る

野菜づくり体験

クッキング活動

サッカー教室

<開かれた保育園を目指します>

ふれあい保育（地元長寿クラブなど）

地域の文化祭への園児の作品出品

地域の長寿安全会への参加

中学生職場体験

自由参観実施

「ゆとり荘」「みのわ園」の入所者・通所者とのふれあい

のんたんの日 未就園児との交流 1回

保育参加 一日保育士さん（保護者対象）

【特色ある保育】

信州型自然保育「やまほいく」

生き物の里、福与城址の散歩、土手滑り、自然の物を使って遊びに取り入れるなどの自然保育を実施している。

「運動あそび」

箕輪町の「運動遊び」の発祥の保育園であり、運動で体を動かして遊ぶ楽しさを知る運動あそびを専門の講師の指導により実施している。この成果は運動会にもプログラムに取り入れられ、運動遊び自由参観でも披露されている。

「読育」

豊かな心を育むことを目的に毎日各クラスで絵本の読み聞かせを行っている。また、毎週木曜日に絵本の貸し出しを行っている。

「食育」

食育計画に基づき、年齢ごとに目的をもって取り組んでいる。園のプランター等でミニニンジン等の野菜を作り、食育集会を年4回実施している。

音楽あそび（リトミック）

リズムに合わせて動く楽しさ、表現する力、集中力をつける目的で音楽に合わせて体を動かしたり、音で色々な動きを表現できるように年5回実施している。

地域との交流

ふれあい保育等で地域のお年寄りと交流しているがコロナウィルスの影響で一部実施ができなかった。未満児との交流では「のんたんの日」を設けて実施している。また保小連携では保小連絡会を随時開催し連携している。

保護者との連携

家庭訪問の実施、保育参加や保護者会との連携による遠足、運動会・ごっこ遊び・クリスマス会で保護者と共に子どもに関わる関係作りに取り組んでいる。個別懇談、保育参加後の懇談会、育児相談等により子育てのパートナーとして保護者を支援している。

5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	今回が初めての受審
---------------	-----------

6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

特に良いと思う点

信州やまほいく「信州型自然保育」により子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。

豊かな自然環境や地域資源を積極的に取り入れた保育の普及を図ることで、信州で育つ全ての子どもが心身ともに健やかに成長できる環境を整備するための制度である信州やまほいく「信州型自然保育」の認定を受けた。従来より生き物の里、福与城址の散歩、土手滑り等の自然公園等恵まれた環境を生かし、さんぽ、探検など自然と触れ合う中で戸外遊びの充実に力をいれ積極的に実施しており、子どもが主体的に活動でき、生活と遊びを豊かにする保育を展開している。

伝統的な「運動遊び」を取り入れた子どもが主体的に活動できる環境を整備している。

箕輪町の「運動遊び」の発祥の保育園であり、運動で体を動かして遊ぶ楽しさを知る運動あそびを専門の講師の指導により実施している。この成果は運動会にもプログラムに取り入れられ、運動遊び自由参観でも披露されており、子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。

業務支援システムを導入しITC活用で園の運営を改善している。

箕輪町では全園で令和元年度から「箕輪町保育園業務支援システム」を導入している。導入の目的は園児の台帳管理、健康記録、登降園管理、年間計画作成などの業務を支援するシステムを導入することにより、保育士の業務負担軽減を図り、保育士がさらに保育の質の向上に取り組み、よりよい保育サービスの提供を行うものである。令和2年から導入が始まり、2年目を迎えている。クラウドシステムにより、ノートパソコンやタブレットによりセキュリティに配慮し、保護者もアプリでスマートフォンを使用し連絡ができるようになっている。出席簿、健康管理、発達記録、指導計画等が標準化されている。月間指導計画、週間指導計画は園全体で共有でき反省や評価も丁寧に行われている。災害対応でも、その効果を発揮できると期待できる。他の市町村と比較して先駆けて取り組んでおり特に良い点として推奨できる。

特に改善する必要があると思う点

外部からの侵入に対する安心・安全な情報提供の充実

利用者アンケートでは「外部からの侵入に対する安全な対策がとられていますか」の質問では「はい」が29%、「どちらともいえない」が40%、「いいえ」が14%、「わからない」が17%となっており、保護者からは防犯体制についての希望や要望が多く安全対策に対する期待が高い。三日町保育園では不審者の対するマニュアルも整備され訓練も実施されており道路側の入り口は通園時を除き施錠されている。保育園の敷地が広く安心・安全に対する保護者の関心は高い。保護者の不安の感じている点を丁寧に聴き不審者訓練の様子や鍵などの安全対策について改善している情報を保護者や地域に更にわかりやすく伝えることを期待する。

利用者が意見を述べやすい環境の整備

第三者評価受審に伴い実施した保護者アンケートでは、保護者から園の保育内容や施設管理に関わる園への期待を込めた多くのコメントが寄せられている。評価項目にもあるように、自ら利用者（保護者）アンケート等を実施する事により、これらの声を受け取る事ができる。特に無記名のアンケート実施や「コドモン」を利用したアンケート等による要望をさまざまな方法で入手することを期待する。

マニュアルの定期的見直しと訓練の実施

三日町保育園は天竜川左岸に位置し、天竜川の浸水想定区域及び土砂災害警戒区域に位置している。また、箕輪町の2次避難所に指定されている。三日町保育園では平成29年に三日町保育園防災マニュアル（土砂災害編）を作成し訓練等を実施してきた。箕輪町広報「みのわの実」で周知されているように令和3年5月20日から警戒レベルの新たな避難情報等が変更になり避難勧告は廃止され避難指示で必ず避難することに変更された。マニュアルについて変更を現在検討されているが併せて避難経路、避難誘導計画、定期的な防災教育・訓練の実施、緊急時の行動や避難行動についても再検討され見直し、保護者等へもマニュアルの開示等丁寧な周知をすることを希望する。

7 事業評価の結果（詳細）と講評
共通項目（別添１）
内容評価項目（別添２）

8 利用者調査の結果
アンケート方式の場合（別添３ - １）

9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添４）
（令和４年２月１４日記載）

保育園での保育関係はよくわかっていましたが、公立なので、予算関係、保育料、施設管理などは子ども未来課にゆだねており、専門的な知識がなく、勉強不足だと痛感しました。

利用者の調査結果はとても知りたいと思っていたので、これからの保育運営に改善すべき点は改善し、これからの保育に役立てたいと思います。

外部からの侵入に対する安心や安全提供の充実、利用者が意見を述べやすい環境の整備、マニュアルの定期的見直しと訓練の実施は改善を図りたい、改善点は真摯に受けとめていきたいと思います。第三者評価を通していろいろと振り返られ、勉強になりました。ありがとうございました。